**17 『枕草子』**

次の文章は、『枕草子』の一節で、一条天皇、宮のもとに兄である藤原が参上している場面である。

（中宮）「御のすれ」と仰せらるるに、はそらにて、ただ（帝の）おはしますをのみ見たてまつれば、とどぎめもはなちつベし。白き押したたみて、（中宮）「これにただいまおぼえむ①古きこと一つづつ書け」と仰せらるる。にゐⓐたまへるに、「これはいかが」とⓑ申せば、（伊周）「とう書きてⓒまゐらせⓓたまへ。をのこは加へさぶらふべきにもあらず」とて、さし入れたまヘり。御硯取りおろして、「とくとくただ思ひまはさでも何も、ふとおぼえむことを」と責めさせたまふに、②などさは臆せしにか、すべてさヘ赤みてぞ思ひ乱るるや。

春の歌、花の心など、いふいふも二つ三つばかり書きて、「これに」とあるに、

　年ればよはひは老いぬしかはあれど花をし見れば物思ひもなし

といふことを、③「君をし見れば」と書きなしたる、御覧じくらべて、「④ただこの心どものゆかしかりつるぞ」と仰せらるるついでに、院の御時に、『草子に歌一つ書け』とに仰せられければ、いみじう書きにくう、まひ申す人々ありけるに、『さらにただ手のあしさよさ、歌の、をりにあはざらむも知らじ』と仰せらるれば、わびてみな書きける中に、だいまの関白殿、中将と聞こえけるとき、

　しほの満ついつもの浦のいつもいつも君をば深く思ふはやわが

といふ歌の、を、『たのむはやわが』と書きたまヘりけるをなむ、いみじうめでさせたまひける」など仰せらるるにも、すずろに汗ゆる心地ぞする。年若からむ人、はた、さもえ書くまじき事のさまにやなどぞおぼゆる。例、いとよく書く人も、あぢきなうみなつつまれて、書きけがしなどしたるあり。

語　注

中宮定子＝一条天皇の皇后。

目はそらにて＝うわのそらで。

ほとど＝ほとんど。

つぎめ＝墨挟みと墨の継ぎ目のこと。

難波津＝「難波津に咲くや木の花冬こもり今は春べと咲くや木の花」という歌で、手習いの初めとして用いた。当時誰でも知っていた歌だと考えられる。

さいふいふも＝そうは言っても。

上﨟＝身分の高い女官のこと。

円融院＝一条天皇の父。

すまひ＝断り。

ただいまの関白殿＝中宮定子や藤原伊周の父、藤原道隆。

あゆる＝にじみ出る。

問1　二重傍線部ⓐ「たまへ」、ⓑ「申せ」、ⓒ「まゐらせ」、ⓓ「たまへ」は、それぞれ誰に対する敬意を表した語か、それぞれ次から選べ。（4点×4）

ア　中宮定子

イ　藤原伊周

ウ　清少納言

エ　上﨟

ⓐ〔　　　〕　　ⓑ〔　　　〕　　ⓒ〔　　　〕　　ⓓ〔　　　〕

問2　傍線部①「古きこと」とは何か、適当なものを次から選べ。（5点）

ア　古人の戒め　　イ　古い歌

ウ　古い漢詩　　　エ　中国の故事

オ　自分の思い出

〔　　　〕

問3　傍線部②「などさは臆せしにか」を口語訳せよ。（7点）

〔

〕

問4　傍線部③「『君をし見れば』と書きなしたる」とは、何をどうしたということか、説明せよ。（10点）

〔

〕

問5　傍線部④「ただこの心どものゆかしかりつるぞ」の意味として適当なものを次から選べ。（5点）

ア　ただこの歌にこめられた心が不吉であるよ。

イ　ただこの歌を詠んだ気持ちだけはうれしいよ。

ウ　ただこの歌は、趣向だけはおもしろいよ。

エ　ただそなたたちの心が知りたかったのだよ。

オ　ただ私の気持ちを伝えたかったのだよ。

〔　　　〕

問6　本文の内容に合致するものを次から選べ。（7点）

ア　誰もが歌を思い付かず赤くなる中で、清少納言だけが平然と歌を書き付けた。

イ　清少納言は、藤原伊周の助けを借りることで、やっとのことで歌を書き付けた。

ウ　中宮は、清少納言が歌を改作した機知を喜び、同様のことがかつてあったことを語った。

エ　清少納言は、自分の歌よりも関白殿の歌のほうが円融院にほめられたので、冷や汗が出た。

オ　清少納言は緊張と恥ずかしさのあまり、一首も歌を書き付けることができなかった。

〔　　　〕

練習問題〈敬語〉

次の敬語の説明として適当なものを後から選べ。

①啓す （　　　　）

②きこしめす （　　　　）

③奏す （　　　　）

④参る （　　　　）

⑤たまふ （　　　　）

ア　尊敬語としては「召し上がる」という意味で使われ、謙譲語としては「うかがう」という意味で使われる。

イ　「言ふ」の謙譲語で、皇后・皇太子に対して用いる。絶対敬語という。

ウ　「言ふ」の謙譲語で、帝に対して用いる。絶対敬語という。

エ　地の文にあっては、動作する人が帝・皇后・上皇・皇太子・皇女などの場合に用いる。最高敬語という。

オ　尊敬語は四段活用、謙譲語は下二段活用である。

【解答】

問1　ⓐ＝イ　ⓑ＝イ　ⓒ＝ア　ⓓ＝ウ

問2　イ

問3　どうしてそんなに気後れしたのであろうか

問4　「年経れば…」の歌の「花をし見れば」の部分を「君をし見れば」に書き換えたということ。

問5　エ

問6　ウ

【練習問題解答】

①イ　②エ　③ウ　④ア　⑤オ